

スポーツ医科学研究所

医療法人社団 正樹会病院

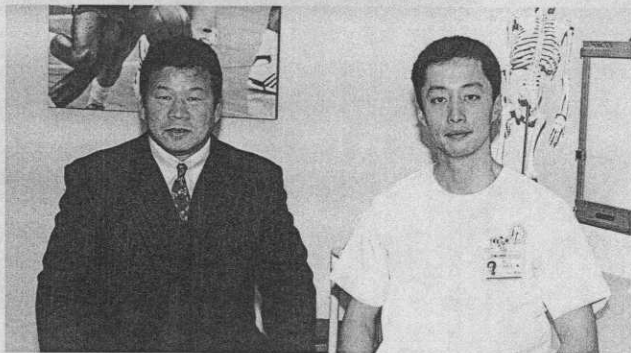
福岡県福岡市城南区神松寺2-65-3

TEL 092-864-6556 FAX 092-861-4807

E-mail : info@masaki-kai.or.jp

http : //www.ijnet.or.jp/masaki-kai/

対談 院長 佐田 正樹
副院長 佐田 正二郎
ゲスト 藤波 辰爾
(新日本プロレス社長)



スポーツ医療に特化した体制で 運動障害の予防と治療に内外で活躍



日本整形外科学会認定医
財団法人日本体育協会認定スポーツドクター
日本医師会公認スポーツ健康医
労働省認定健康測定研修修了医

藤波 建物の外観だけでなく、院内には多くのトレーニング装置が並び、どこにも病院という感じがなくて見事に想像を裏切られましたよ(笑)。

佐田 15年前の開院当時からスポーツ医療に注力してきましたが、昨年病院を一新し、スポーツジムのような形態になりました。

藤波 当初、スポーツ専門医というのは珍しかったのでは。

佐田 院長でもある父は九州で(財)日本体育協会認定のスポーツドクター第1号として、先駆的な存在でした。それと、西鉄ライオンズ時代からチームドクターをしており、ライオンズが福岡を去った後も平和台球場のドクターとしてプロ野球試合の度に医務室に待機していました。そんな関係で平和台球場をホークスがホーム球場とした時もチームドクターになったこともあって、今日までスポーツ医学の専門医として頑張っているのです。そして、私も4年前に日本体育協会認定のスポーツドクター資格を得た後、副院長として父を手伝っている次第。

藤波 スポーツ医療の分野で、現在最も力を入れておられるのは。

佐田 それは予防医療ですね。スポーツによるケガの治療はどの病院でも手掛けてお

られますが、私どもでは8人のスポーツトレーナーを現場まで派遣させ、予防の面からチームを支援しております。

藤波 それは独特な活動ですね。どういった所にトレーナーの派遣を。

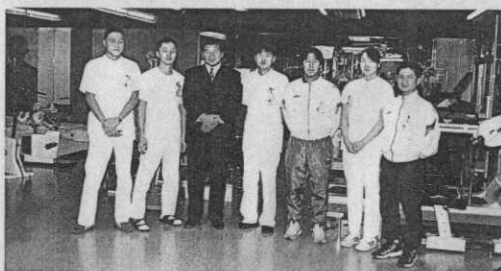
佐田 件数的に多いのは学校のスポーツクラブです。それと、福岡空港近くにある“アクション福岡”という県立総合スポーツセンターのフィットネスジム運営も委託されていますので、そこにも派遣しておりますし、各地の自治体が実施する健康測定や運動指導などには、各種検査機器を積んだバスをトレーナーが同乗して走らせています。逆にスポーツトレーナーの専門学校から、実習の場として使用したいという依頼もありますね。

藤波 院外活動に積極的ですが、病院の医療設備をご紹介します。

佐田 手術室、X線やMRIを備えた検査室、東洋医学の鍼も併用した理学診療、リハビリ施設、ベッド50床の入院施設というところ。手術では靭帯の症例をかなり手掛けていますし、椎間板ヘルニアの治療には最新のレーザー装置を使っています。

藤波 私も含めスポーツ選手の場合、メスを入れずに治療可能な病院を求めて、全国各地を探しているのですよ。

佐田 メスによる手術はスポーツ人生を断ち切る場合もありますからね。私達はいかにして現場復帰してもらえるかという考え方ですから、リハビリも日常生活ができればゴールではなく、実際の運動ができるまで回復させるというのが特徴の1つです。それだけにリハビリ期間が長くなりますが、患者さんには喜ばれていますね。



スポーツリハビリテーションセンターの爽やかなスタッフと

藤波 患者さんの層としては。

佐田 中学生から30~40歳代の比較的若い人が中心に。特に中学・高校生の成長期には骨の発達に比べて筋肉の成長が遅れ、その部分でスポーツ障害が多く発生しますね。

藤波 社会人のスポーツ人口も増えていまして、それと共に患者さんも増加を。

佐田 運動不足が原因の生活習慣病もあって、健康のためにスポーツをする人が増えていますが、健康は病気をしないということではなく、常に体を良い状態に維持することと考えていますので、運動生理学や栄養学、医学など多方面から指導するスポーツドクターの役割が重要になると思います。そのため、スポーツ医科学研究所を併設し、スポーツ障害の予防法と治療法を専門に研究しているところ。例えば、足の変形が膝や股関節の機能に影響しますので、総合的に診て足に問題があれば両足のバランスを取るため、コンピュータ測定で足に合った靴のインソール、いわゆる足底板を作って、足元から治していくようにしていますし、全国の病院に先駆けて加圧筋力トレーニング法も採り入れました。専用ベルトで筋肉に圧力をかけ、酸欠状態の筋肉でトレーニングするのですが、いい結果が出ていますよ。

藤波 ところで、スポーツドクターでいらっしゃるから、ご自身も何かスポーツを。

佐田 スキーを楽しんでいます。冬になると休診の日曜ごとに滑りに行きますし、この冬も3年連続で福岡代表として国体に参加しました。スポーツをしていますと患者さんの痛みが実感として分かりますからね。

藤波 最後に、今後の夢をひと言。

佐田 父も同じ夢を抱いているのですが、スポーツ医学では名実共に日本一の病院を目指したいと思っています。

藤波 ぜひ、親子2代で夢を実現して下さい。私も応援させていただきますよ。



明るい雰囲気受付の方々